

第七次環境にやさしい 郡山地方広域消防組合 率先行動計画

—郡山地方広域消防組合エコオフィスプラン2026—



● 目次

第1

基本方針

ゼロカーボン社会に向けて

第2

現状と課題

実態を把握する

第3

目標

温室効果ガス排出量の削減目標

第4

取組

目標達成に向けた戦略

第5

進捗管理

組織全体で共有化

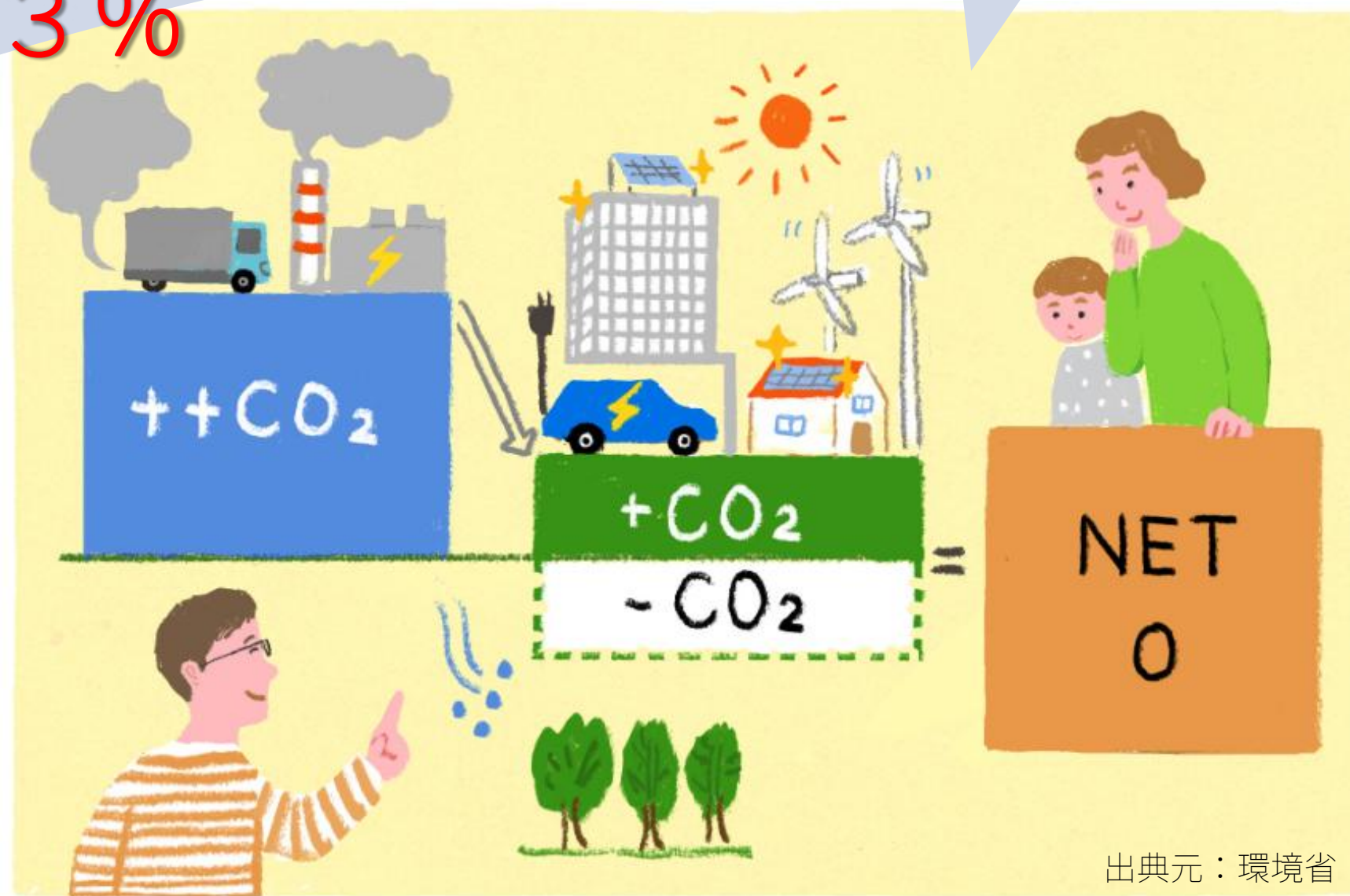
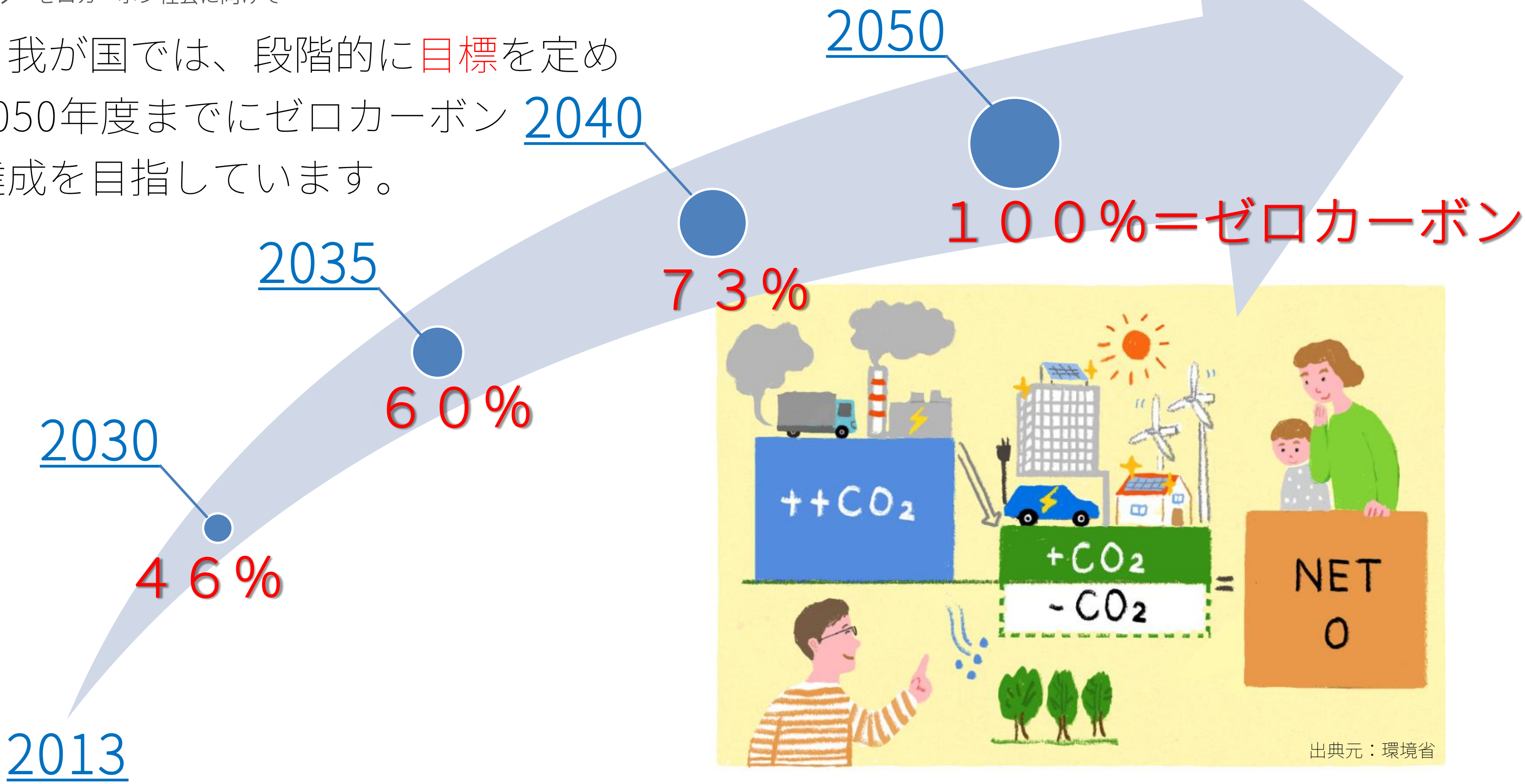
写真提供：(財)北海道環境財団

出典元：JCCCA

第1 基本方針

ゼロカーボン社会に向けて

我が国では、段階的に目標を定め
2050年度までにゼロカーボン
達成を目指しています。



出典元：環境省

本組合においても、国の地球温暖化対策を踏まえ、ゼロカーボン社会を目指すために本計画を策定します。



出典元：環境省

計画期間年度

2026～2030

対象事務事業

郡山地方広域消防組合
19施設（2026年4月1日現在）
温室効果ガス

基準年度

2013

昨今、本組合の「温室効果ガス総排出量」は、**減少傾向**にあります。

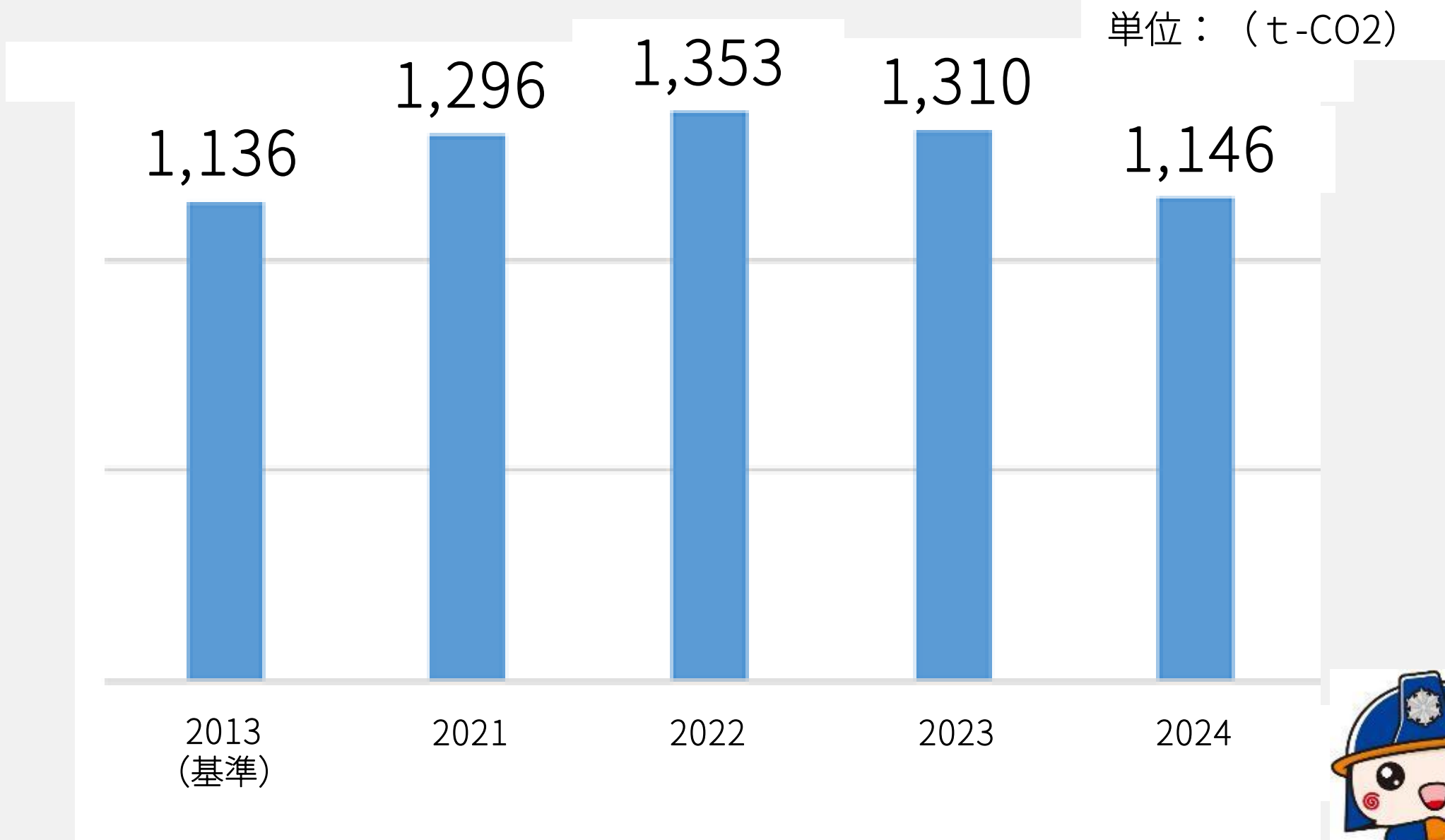
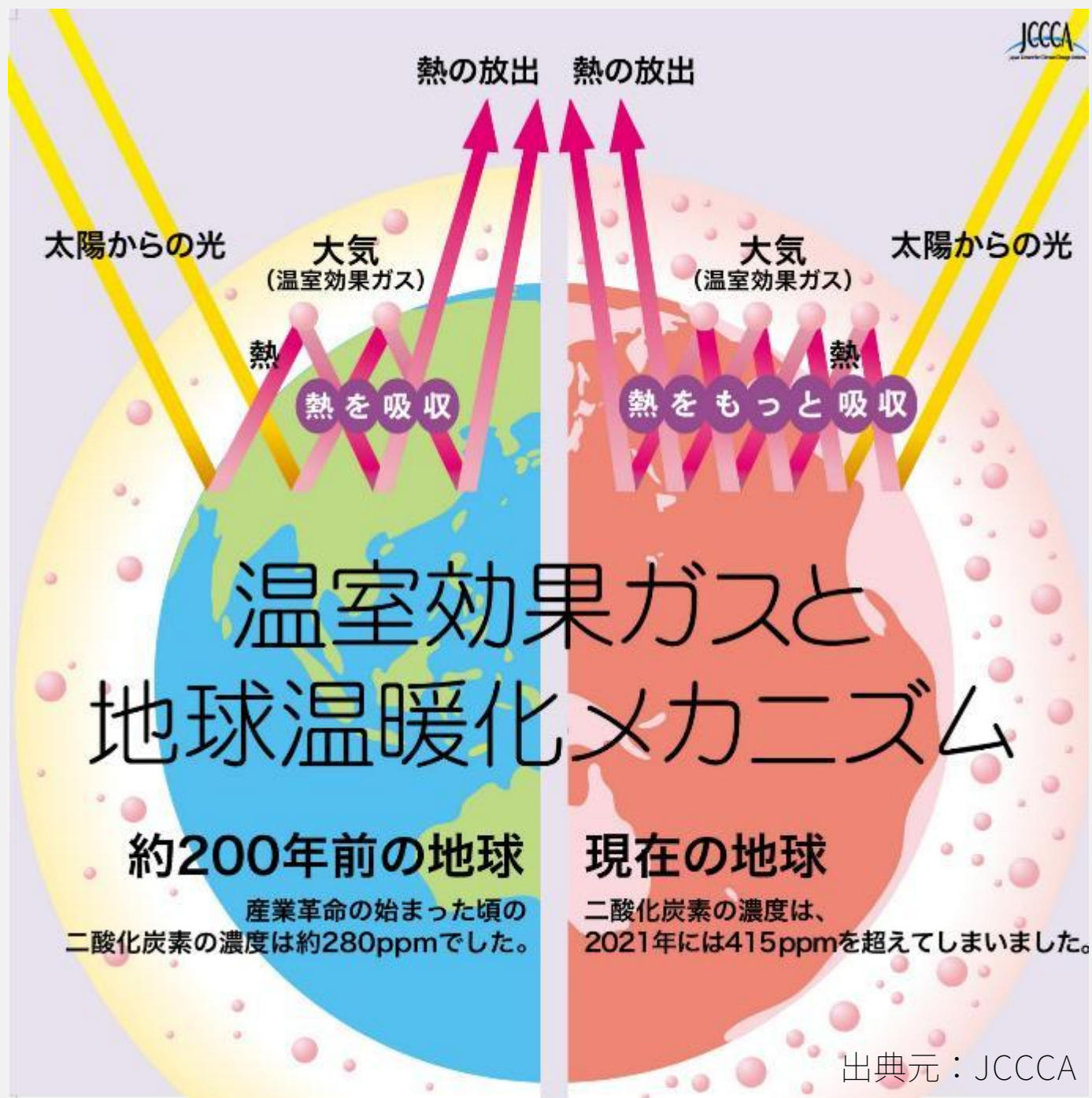


図1 本組合の「温室効果ガス総排出量」推移



減少傾向の主要因



電気消費量の減少

- LED照明の導入（消防本部、田村消防署及び富久山分署）
- 太陽光発電設備の導入（田村消防署、富久山分署）
- 庁舎統廃合（常葉分署）

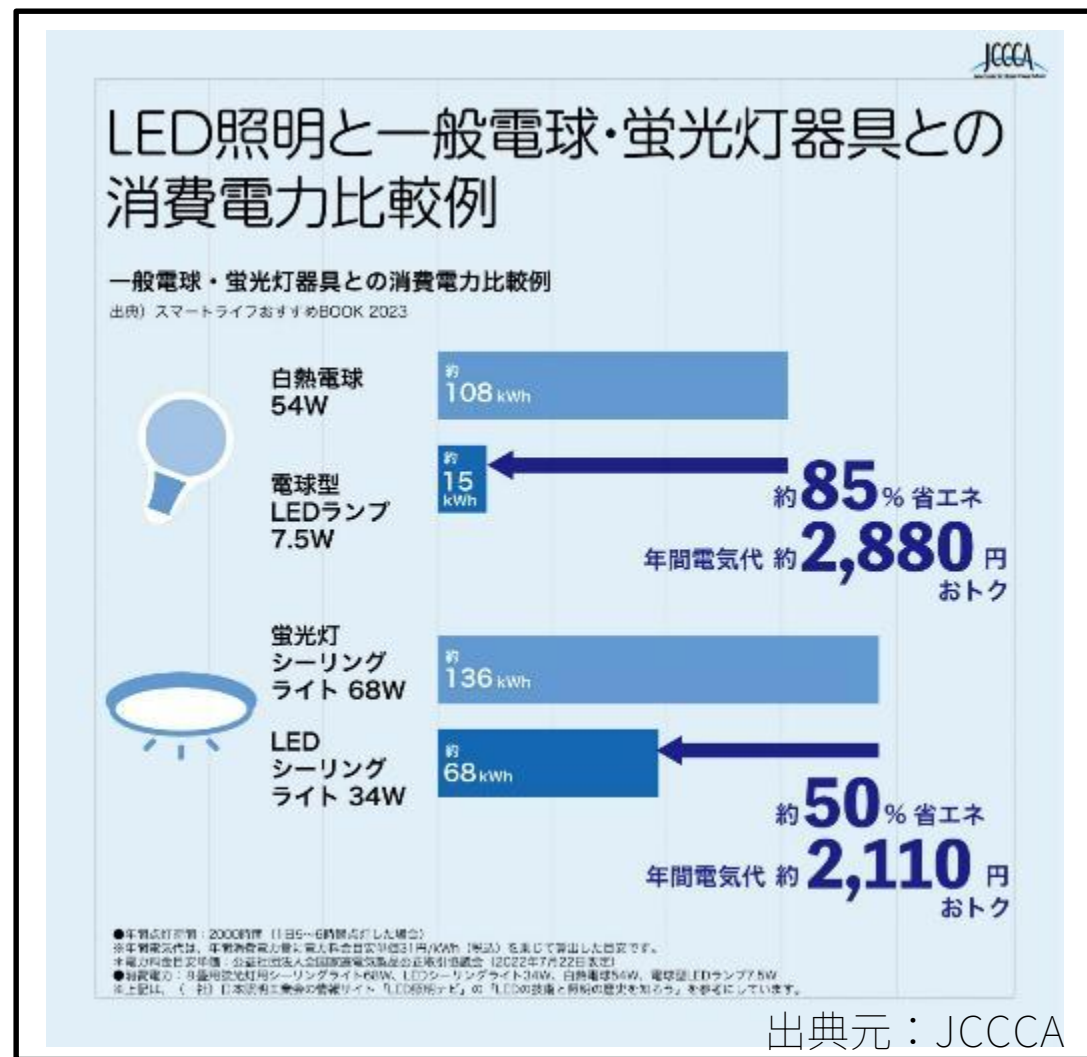
印刷用紙の減少

- メール、データ、タブレット等活用（各業務のDX化）

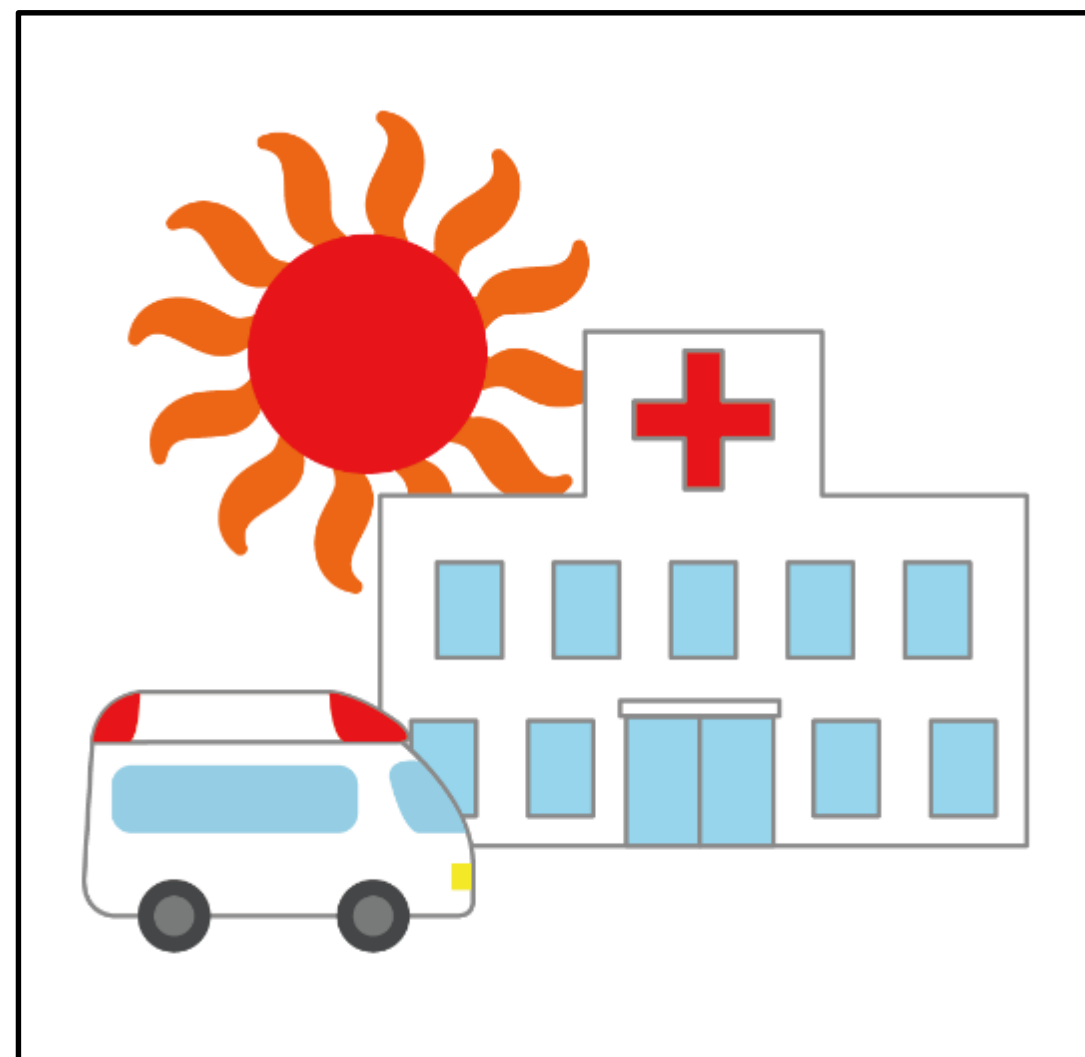
グリーン購入推進

- 環境に配慮した物品等の購入
（コピー用紙、ファイル、インクカートリッジ等）

温室効果ガス排出量の削減に向けた課題



・ LED照明が未導入（16/19施設中）



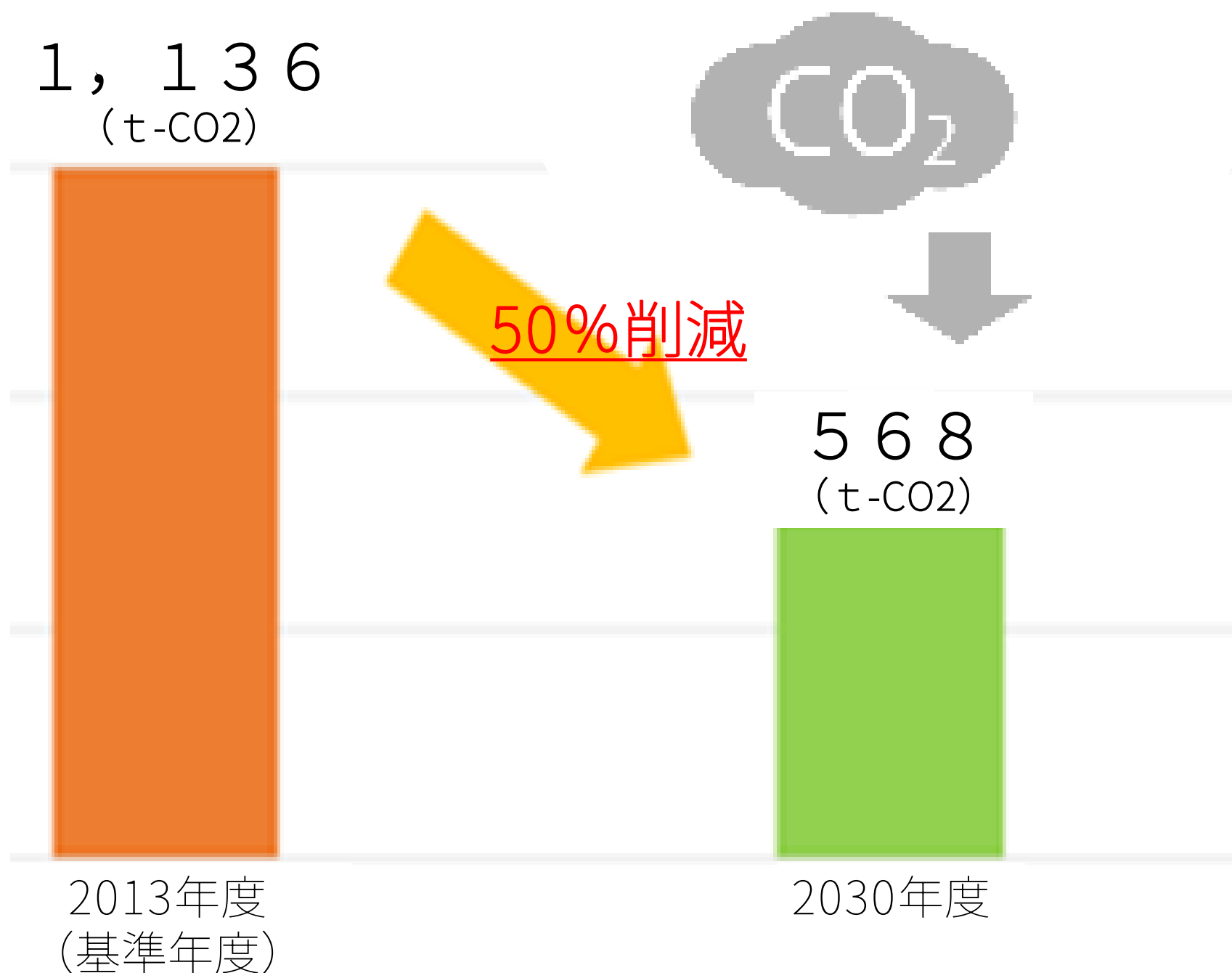
・ 救急需要増加（ガソリン消費）



・ 設置場所が無い（建物の構造や敷地の狭隘等）

出典元：JCCCA

本組合の削減目標は、
2030年度までに50%削減とします。



各国の削減目標



国名	削減目標	今世紀中頃に向けた目標 ネットゼロ ⁽⁸⁾ を目指す年など <small>(8) 温室効果ガスの排出を全体的にゼロにすること</small>
中国	GDP当たりのCO ₂ 排出を 2030 年までに 65% 以上削減 <small>(2005年比)</small> ※CO ₂ 排出量のピークを 2030年より前にすることを旨す	2060 年までに CO ₂ 排出を 実質ゼロにする
EU	温室効果ガスの排出量を 2030 年までに 55% 以上削減 <small>(1990年比)</small>	2050 年までに 温室効果ガス排出を 実質ゼロにする
インド	GDP当たりのCO ₂ 排出を 2030 年までに 45% 削減 <small>(2005年比)</small>	2070 年までに 排出量を 実質ゼロにする
日本	2035 年度において 60% 削減 <small>(2013年比)</small> 2040 年度において 73% 削減 <small>(2013年比)</small>	2050 年までに 温室効果ガス排出を 実質ゼロにする
ロシア	2030 年までに 30% 削減 <small>(1990年比)</small>	2060 年までに 実質ゼロにする
アメリカ	温室効果ガスの排出量を 2035 年までに 61 - 66% 削減 <small>(2005年比)</small>	2050 年までに 温室効果ガス排出を 実質ゼロにする

各国のNDC提出・表明等、表現のまま掲載しています。(2025年5月現在)

普段の生活からゼロカーボンアクション30を、職員一人一人ができることを実施します。



ひとりひとりができること ゼロカーボン アクション30

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。
「ゼロカーボンアクション30」にできるところから取り組んでみましょう！



エネルギーを節約・転換しよう!

- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう
- 7 消費エネルギーの見える化

太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!

- 8 太陽光パネルの設置
- 9 ZEH (ゼッチ)
- 10 省エネリフォーム
窓や壁等の断熱リフォーム
- 11 蓄電池 (車載の蓄電池)
・省エネ給湯器の導入・設置
- 12 暮らしに木を取り入れる
- 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- 14 働き方の工夫

CO2の少ない交通手段を選ぼう!

- 18 スマートムーブ
- 19 ゼロカーボン・ドライブ

食ロスをなくそう!

- 17 食事を食べ残さない
- 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅でコンポスト



環境保全活動に積極的に参加しよう!

- 30 植林やゴミ拾い等の活動

CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう!

- 28 脱炭素型の製品・サービスの選択
- 29 個人のESG投資

3R (リデュース、リユース、リサイクル)

- 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う
- 25 修理や修繕をする
- 26 フリマ・シェアリング
- 27 ゴミの分別処理

サステナブルなファッションを!

- 21 今持っている服を長く大切に着る
- 22 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 23 環境に配慮した服を選ぶ





普段の暮らしでできる気候変動対策の切り札はこれだ！ COOLCHOICE アクションカード



断熱性
高めて減らす
電気代



住宅の外壁や屋根、天井、床、窓の断熱改修によって、冬は暖かく夏は涼しい快適な住空間が生まれます。冷暖房効率も向上し、快適で健康なおうちにしませんか？



エコ家電
省エネラベルで
えラベル Y O！



消費電力が高い家電は冷蔵庫、照明、テレビ、エアコン、温水洗浄便座。★の数で省エネ性能を表示しているので、できるだけ5つ星家電を選びましょう。電気代を節約できます。



エコカーに
乗って前進！
脱炭素



電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド、プラグインハイブリッド、クリーンディーゼル車等を選択することで、高い燃費性能を手に入れて、脱炭素社会をつくりませんか？



効かせすぎ
エアコン地球を
あつためる



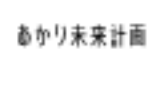
室温を意図することは気候変動対策への第一歩です。過度に冷房・暖房に頼らなくても、快適に通ごすためのライフスタイルがCO₂排出削減につながります。



アクセルで
気候変動
ブレーキを



アクセルの踏み込みをやさしくする。そんなエコドライバーになることで約10%燃費が向上し、CO₂排出量削減につながります。お財布にやさしく、地球にもやさしい。



LED
照らせ未来を
省エネで



家庭の中で、冷蔵庫に次いで電気を消費しているのが照明。電球型LEDランプに換えると一般的な電球（白熱電球）と比較して、約85%の省エネになり、40倍長持ちします。

チョイス
さあ、あなたの選択は？



一回で
受け取りませんか？
宅配便



宅配便の取扱数は約43億個。そのうち、約2割が再配達。再配達のトラックから排出されるCO₂の量は年間でおよそ42万トン。時間指定や宅配ボックス、コンビニ受け取り、アプリの活用など、いろいろな受け取り方法があります。



スマートに
電車やバスで
エコ移動



電車やバスなどの公共交通機関は、CO₂排出量が少ない移動手段。通勤や通学はもちろん、旅行やちょっとした外出なども電車やバスを利用して、移動をエコに。

シェアをして
省エネ効果
発揮する



最近、増えているシェアオフィス。新しいコミュニケーションが生まれ、ネットワークが広がるだけでなく、エネルギーをシェアして、省エネにつながります。

職場における基本的な取組内容

1 電気使用量の削減	(1)照明の適正管理	① unnecessary 照明の消灯を徹底する。
		② 昼休みは、窓口等を除き支障のない範囲で消灯する。
		③ 残業時には、 unnecessary 照明を消灯する。
		④ 台所、湯沸し室、トイレ等の照明をこまめに消灯する。
		⑤ ノー残業デーを積極的に推進する。
		⑥ 庁舎 LED 化の導入を推進する。
	(2)OA 機器等の適正管理	① 長時間使用しない時は、電源を OFF にする。
		② 昼休みは、窓口等を除き支障のない範囲で電源を OFF にする。
	(3)エレベーター等機器の 適正管理	① 積極的に階段を利用し、できるだけエレベーターの使用を控える。
		② エレベーターが複数台設置されている場合には間引き運転を行う。

職場における基本的な取組内容

2 燃料使用量の削減	(1)公用車の適正利用	①経済運転、アイドリング・ストップを励行し、急加速、空ぶかし等をしないよう徹底する。
		②タイヤ空気圧の点検等の車両整備を定期的に行う。
		③出張時等においては、可能な範囲で公共交通機関を利用するよう努める。
		④低燃費車を優先的に利用するよう努める。
	(2)空調の適正管理	①冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安に、冷暖房時の温度管理を徹底する。
		②冷房時にはブラインド、カーテンを利用して断熱効果を高め、暖房時には自然光を積極的に取り入れる。
		③冷暖房中は、ドアの開けっぱなしに注意する。
	(3)燃料使用機器の 適正利用・管理	①お湯を沸かす場合には、底が濡れたままのやかんをコンロにかけない。
		②お湯を沸かす場合には、コンロの火力は8割程度に抑える。
		③燃料使用機器等の省エネ運転に努める。

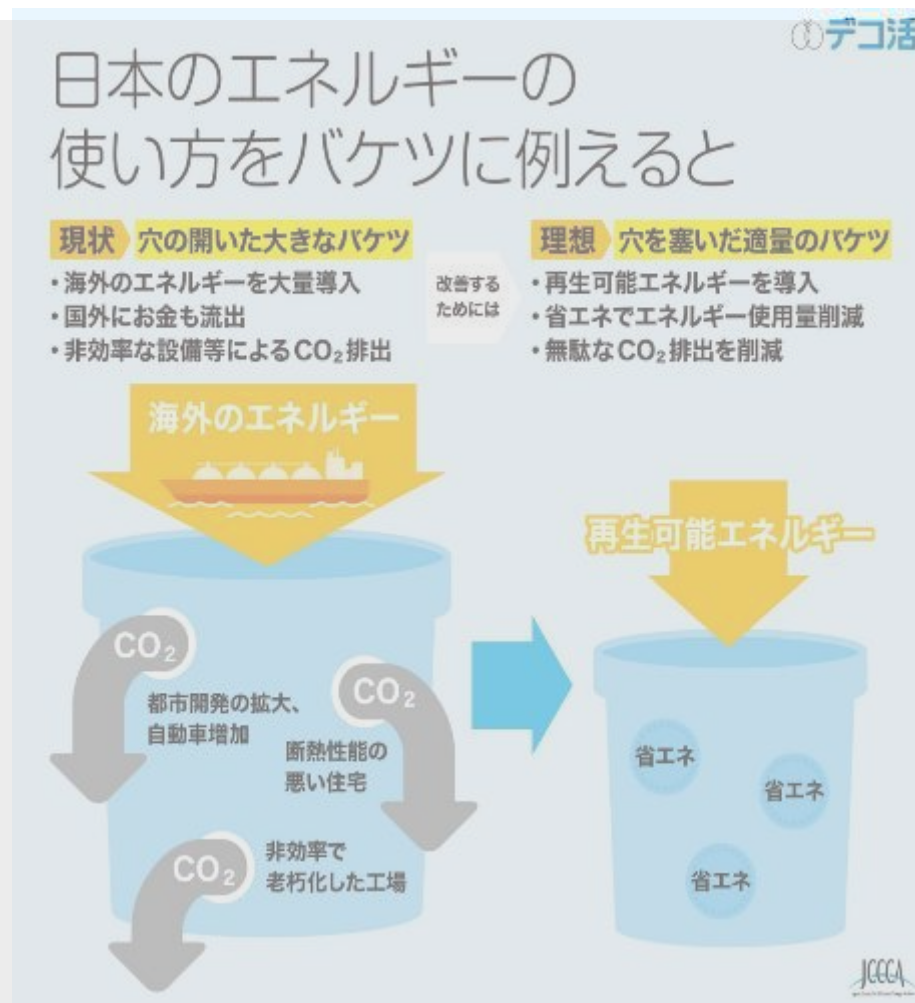
職場における基本的な取組内容

3 水道使用量の削減	節水の推進	①日常的に節水を意識し蛇口を開放する。
		②トイレの使用時の二度流しなど、過剰な水の使用を控える。
		③非接触型自動水栓の導入拡大を推進する。
4 廃棄物排出量の削減	(1)廃棄物の発生抑制	①事務用品等を購入する際は、その必要性を考慮し適切な量を購入する。
		②備品、機器等の修繕使用に努め、使用期間の長期化を図る。
	(2)リサイクルの推進	①リサイクル可能かどうかを判断し、ごみを減らすよう努める。
		②ごみと資源(ペットボトル、プラスチック類、アルミ缶、スチール缶、段ボール、紙等)の分別を徹底する。

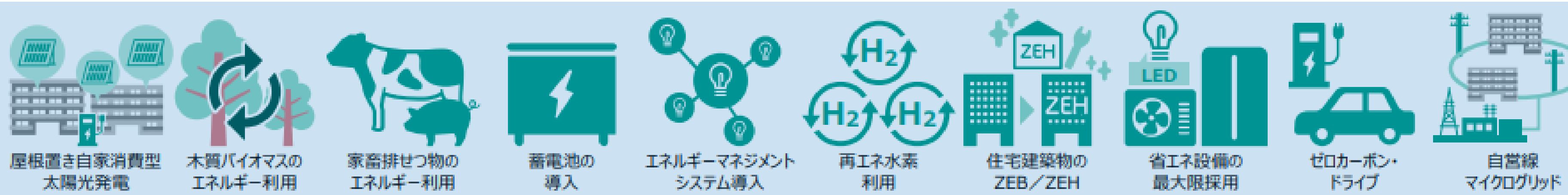
職場における基本的な取組内容

5 用紙類使用量の削減	(1)用紙使用量の削減	①文書・資料の簡素化に努め、印刷は最低限とする。
		②タブレットを活用する等、ペーパーレス化に向けた取り組みを推進する。
		③印刷・コピー両面刷りを徹底する。
		④ためし刷りや庁内文書においては、裏面を利用する。
		⑤ミスコピーしないように留意する。
	(2)封筒使用量の削減	①作成時には必要数を考慮し、必要以上に作成しない。
		②使用済み封筒については、所属間連絡用封筒として積極的に利用する。

施設の新築や改修工事は、環境負荷（排ガス等）の低減を図り、再生可能エネルギー設備等の導入を推進します



出典元：JCECA

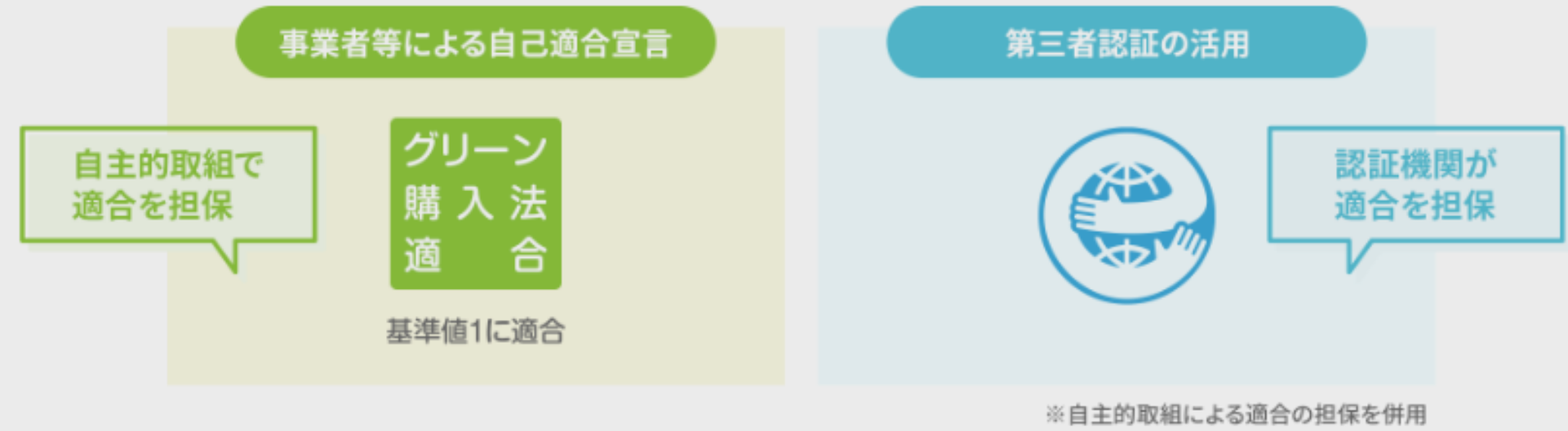


出典元：総務省

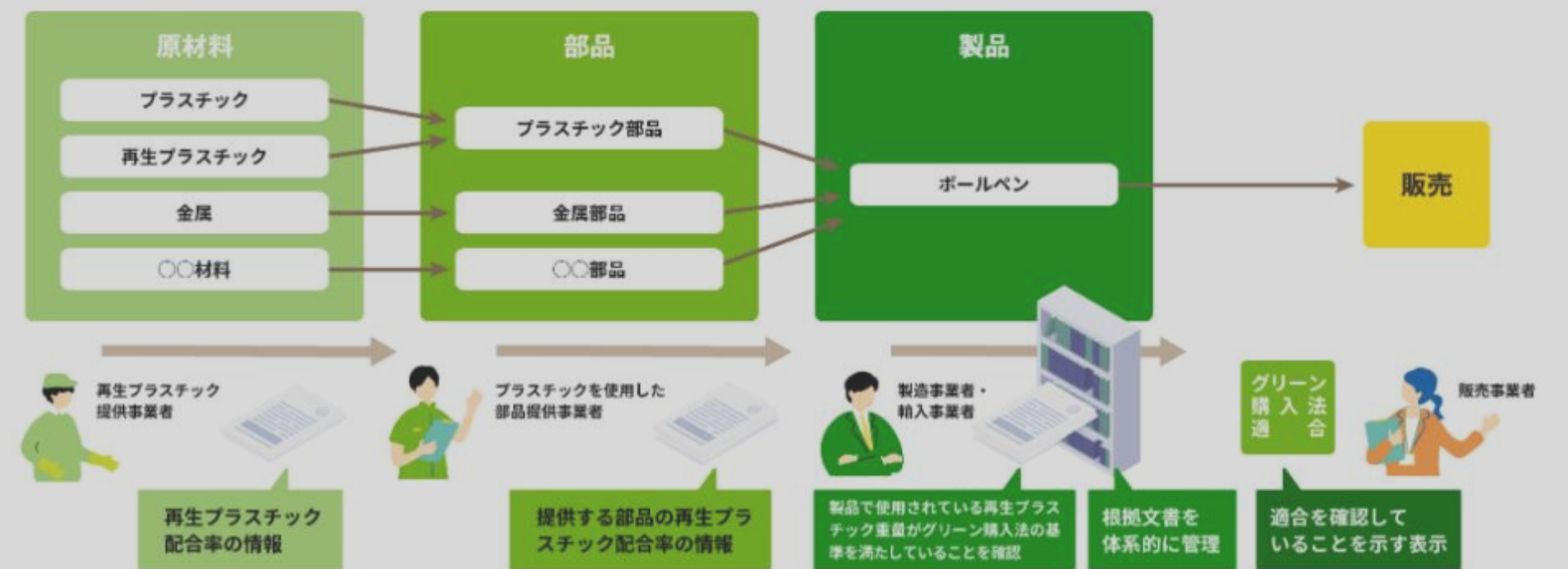


「グリーン購入法適合」の表示がある物品を積極的に調達します

「グリーン購入法適合」表示の例



信頼性確保に向けた取組例<ボールペン（主要材料がプラスチック）の場合>



～本組合取組事例～

※一部施設で実施済み



太陽光ソーラーパネル



高効率エアコン
※BELS認証



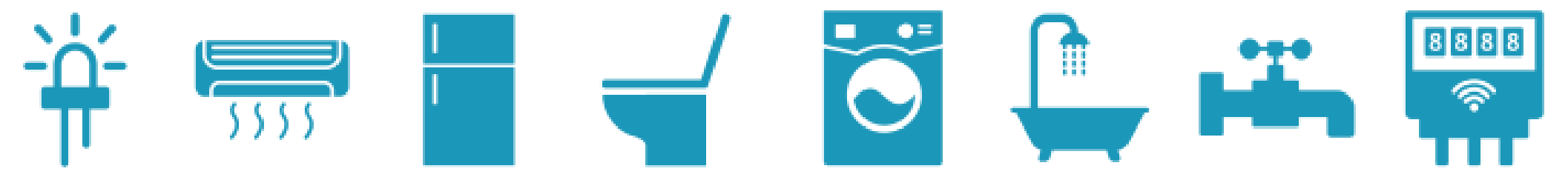
電気自動車



LED照明

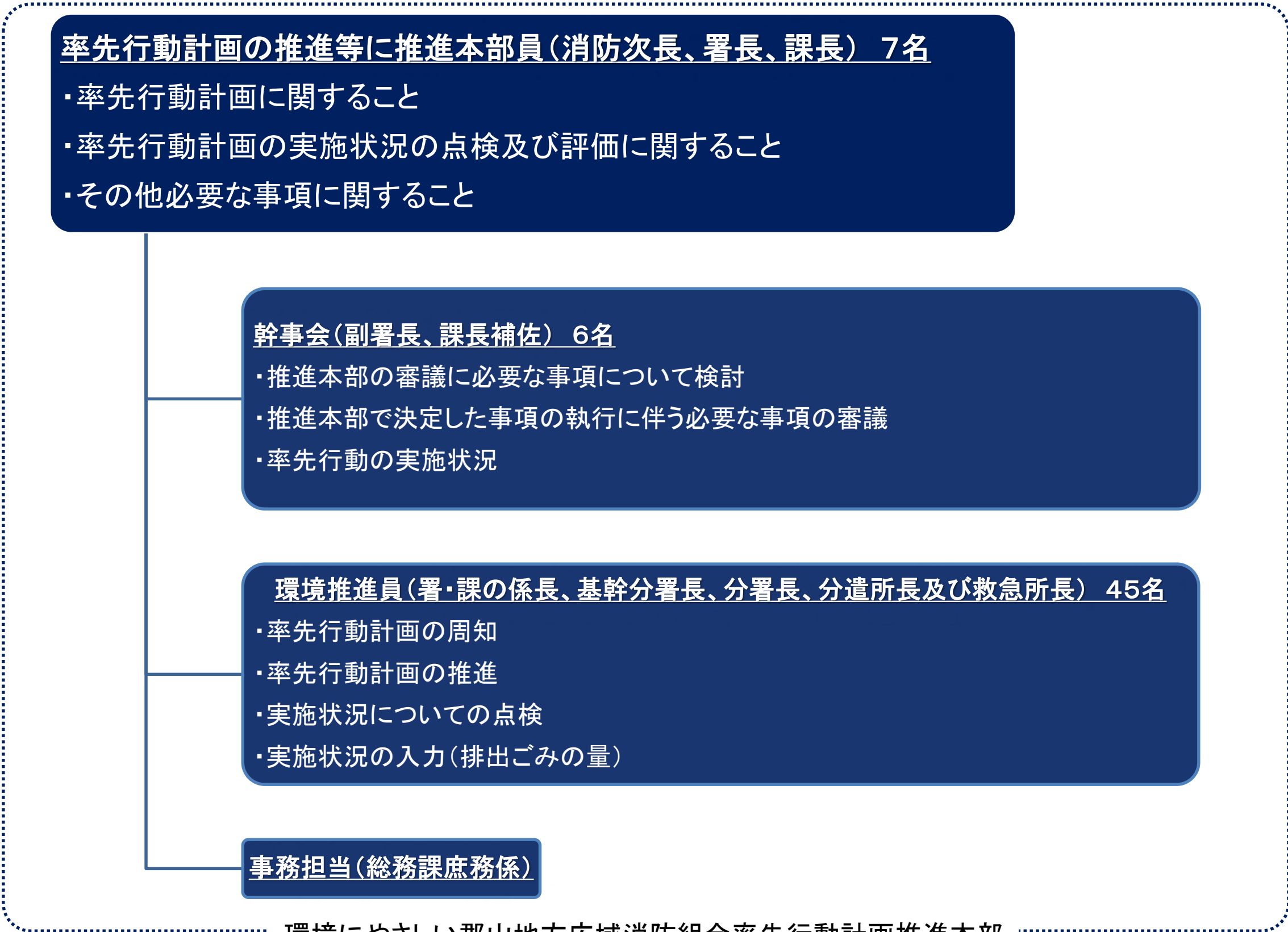
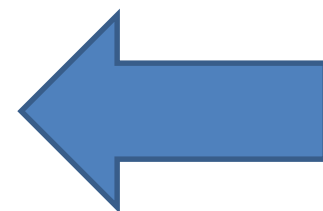


カーシェア



本計画を推進してくため、「環境にやさしい郡山地方広域消防組合率先行動計画推進本部」を設定します

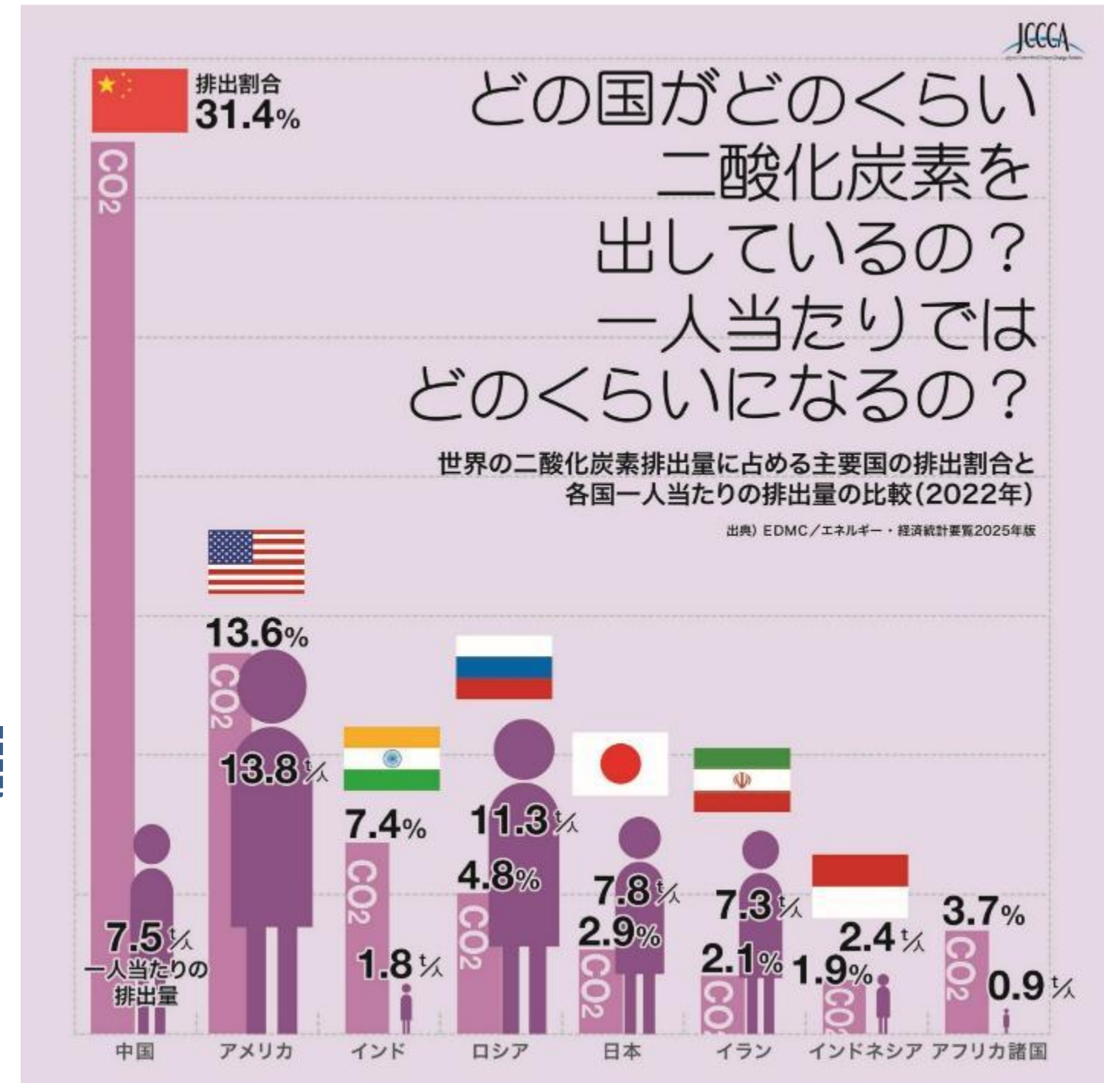
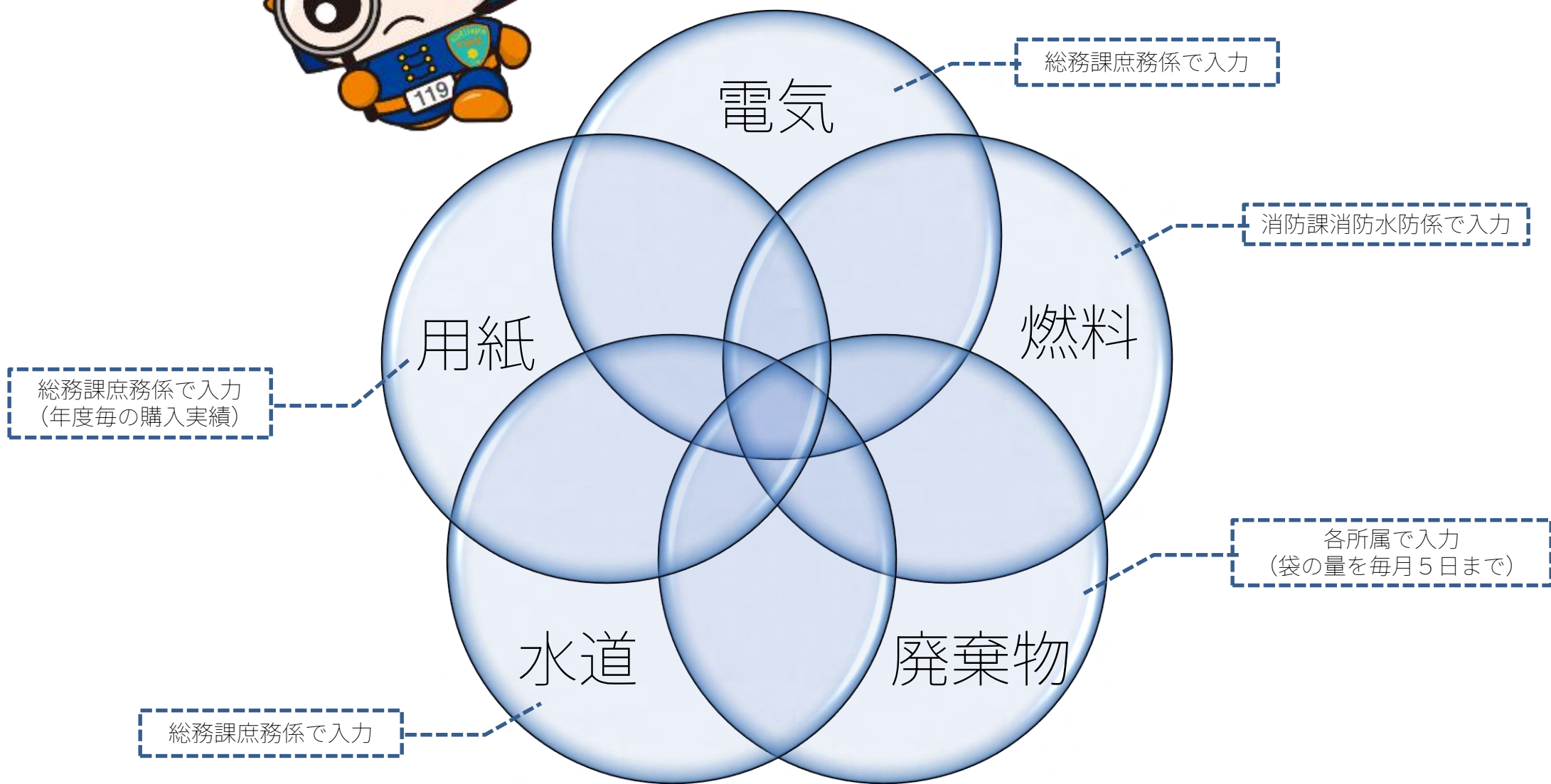
公表

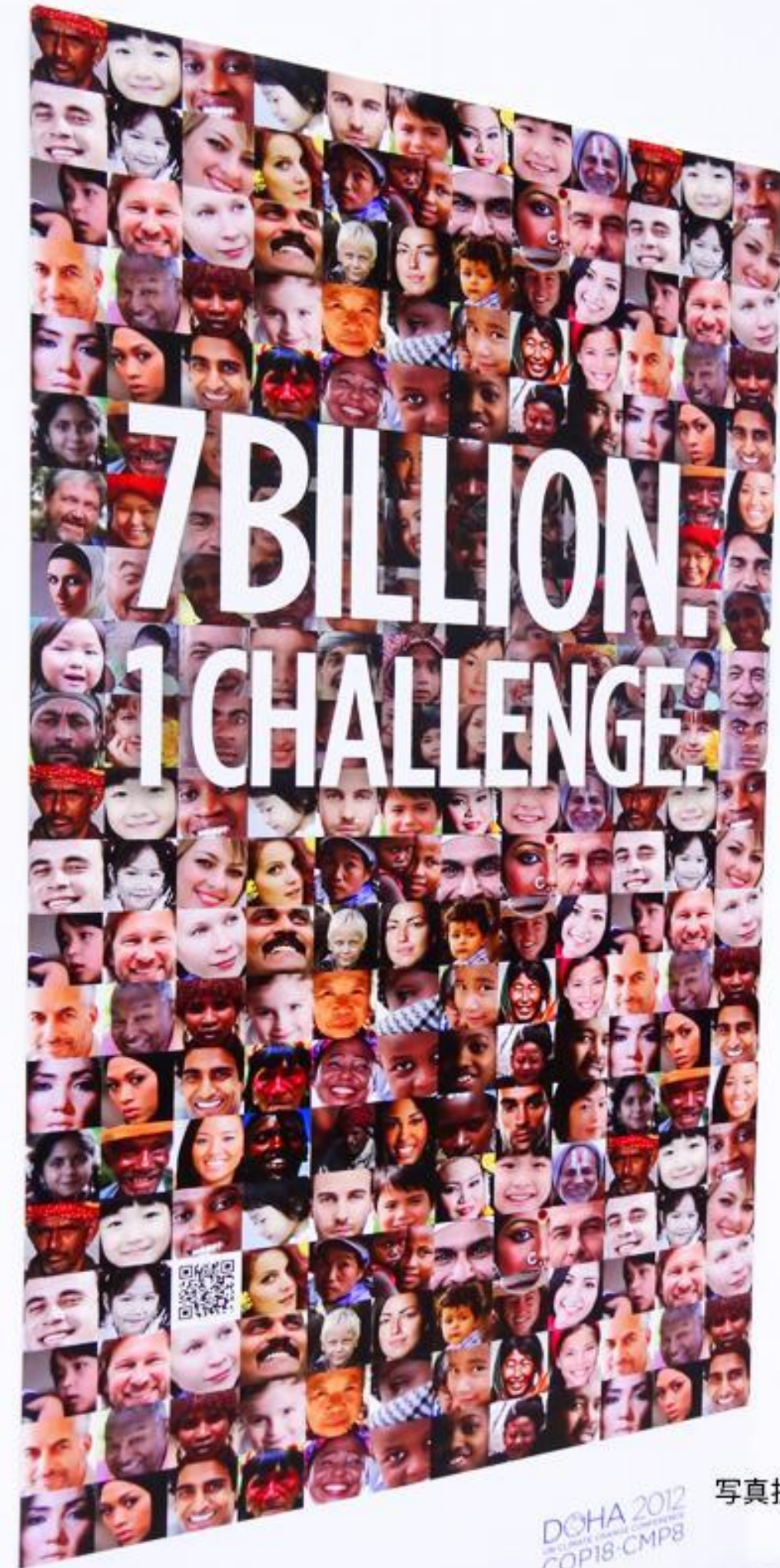


進捗管理

組織全体で共有化

光熱水等の使用量を指定共有ファイルに入力し「見える化」することで、組織全体で進捗状況の共有を図ります





写真提供：国立環境研究所

久保田 泉

出典元：JCCCA

第七次環境にやさしい 郡山地方広域消防組合 率先行動計画

—郡山地方広域消防組合エコオフィスプラン2026—

2026年策定 総務課庶務係

